

平成27年10月14日

株 主 各 位

高知市帯屋町一丁目10番18号

株式会社 一や

代表取締役会長兼社長 山本真嗣

第65回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、当社第65回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席下さいませようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成27年10月28日（水曜日）午後6時までにご到着するようご返送いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成27年10月29日（木曜日）午前10時
2. 場 所 高知市高須砂地155番地
サンピアセリーズ 2階「コーラルホール」
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照下さい。）
3. 目的事項
[報告事項] 第65期（平成26年8月1日から平成27年7月31日まで）
事業報告の内容報告の件
[決議事項]
第1号議案 第65期（平成26年8月1日から平成27年7月31日まで）
計算書類承認の件
第2号議案 剰余金の処分の件

以 上

当日ご出席の際は、同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出下さいませようお願い申し上げます。

本招集ご通知提供書面のうち「個別注記表」につきましては、法令および当社定款第16条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.ichiya-group.co.jp/>）に掲載しておりますので、本招集ご通知提供書面には記載しておりません。

なお、株主総会参考書類ならびに事業報告および計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.ichiya-group.co.jp/>）に掲載させていただきます。

(提供書面)

事業報告

(平成26年8月1日から
平成27年7月31日まで)

I. 会社の現況

1. 当事業年度の事業の状況

(1) 事業の経過および成果

当事業年度におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用環境の改善が見られるなど、景気はゆるやかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国経済の不安定要因や円安による原材料価格の上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境のなか当社は、衣料事業および飲食事業ならびに不動産事業に取り組んでまいりました。

衣料事業に関しましては、個人消費に僅かながら回復の兆しが見えてきたものの、天候不順や消費税率引き上げの影響もあり、厳しい状況で推移いたしました。こうしたなか当事業年度においては、お客様ニーズの多様化やインターネット販売の増加により、店舗販売の売上高は減少傾向にあることから、効率的な運営を図るため2店舗を閉店いたしました。この結果、衣料事業の売上高は165百万円（前期比30.2%減）となりました。

飲食事業に関しましては、円安等による原材料価格・エネルギーコストの上昇、店舗運営面における人件費の高騰に加え人材確保の難しさが深刻化するなど、依然として業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。こうしたなか、前期に開店した店舗の売上高と既存店舗も好調に推移したことから増収となりました。この結果、飲食事業の売上高は642百万円（前期比27.2%増）となりました。

不動産事業に関しましては、地価の下げ止まり感、低水準の住宅ローン金利などから住宅市場は堅調に推移いたしました。こうしたなか、販売用宅地の在庫は減少しているものの、販売高は概ね順調に推移いたしました。この結果、不動産事業の売上高は92百万円（前期比5.2%減）となりました。

これらの結果、当事業年度の業績につきましては、売上高は899百万円（前期比7.2%増）と増収となりました。営業損失につきましては90百万円（前事業年度営業損失112百万円）、経常損失は1百万円（前事業年度経常利益114百万円）となりました。また、当期純損失につきましては、特別損

失として、固定資産除却損4百万円、貸倒引当金繰入額26百万円、減損損失21百万円、総額52百万円を計上したことから、60百万円（前事業年度当期純損失18百万円）となりました。

部門別売上高および構成比は、次のとおりであります。

部 門	第64期 平成25年8月1日から 平成26年7月31日まで		第65期 平成26年8月1日から 平成27年7月31日まで		前事業年度比 増減率 (△は減)
	売 上 高	構 成 比	売 上 高	構 成 比	
衣 料 事 業	237,390千円	28.3%	165,627千円	18.4%	△30.2%
飲 食 事 業	504,937	60.1	642,087	71.4	27.2
不 動 産 事 業	97,046	11.6	92,015	10.2	△ 5.2
合 計	839,374	100.0	899,730	100.0	7.2

(2) 設備投資の状況

当事業年度中において実施いたしました設備投資の総額は7百万円で、その主なものは、飲食事業の店舗・設備改修費用等6百万円であります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

(5) 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

(6) 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

(7) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

- ① 当社は、平成27年6月にSUMO STEAK PHILIPPINES INC.の株式20%を取得いたしました。
- ② 当社は、平成27年7月にDiamond Dining Macau Limitedの株式20%を取得いたしました。

2. 直前3事業年度の財産および損益の状況

区 分	第 62 期 平成24年7月期	第 63 期 平成25年7月期	第 64 期 平成26年7月期	第 65 期 平成27年7月期
売 上 高 (千円)	1,050,439	899,659	839,374	899,730
当 期 純 損 失 (千円)	203,047	307,070	18,094	60,018
1株当たり当期純損失	1円28銭	1円94銭	0円11銭	0円38銭
総 資 産 (千円)	3,246,551	3,213,228	3,150,106	3,056,974
純 資 産 (千円)	3,071,749	3,047,270	3,036,499	2,962,320
1株当たり純資産額	19円38銭	19円23銭	19円16銭	18円69銭

(注) 1株当たり当期純損失は、期中平均発行済株式総数により算出しております。

なお、期中平均発行済株式総数については、自己株式数を控除して算出しております。

3. 重要な子会社の状況

会社名	資本(出資)金	当社の議決権比率	主要な事業の内容
葵投資パートナーズ 匿名組合	500,000千円	—	有価証券等の投資運用
株式会社 ギャンブルライフ	9,000千円	100%	アパレル製品の企画・製造・販売・ 卸売

(注) 葵投資パートナーズ匿名組合の資本金は、預り出資金です。

4. 対処すべき課題

当社は、早期業績回復を目指すため、既存事業の見直しおよび経営戦略の改革を次のとおり進めてまいります。

衣料事業につきましては、店舗閉店の影響から売上高が減少しておりますが、効率的な運営や新たな商品開発などの対応を進め、売上高の向上と収益の増加を目指してまいります。飲食事業につきましては、人件費高騰や人材確保が難しくなっていることから、設備投資による効率的な運用と新商品開発や顧客サービスの更なる向上に努め、継続的な黒字体制の構築を図ってまいります。不動産事業につきましては、賃貸物件のテナント誘致を積極的に進め収益源を拡大するとともに、新たな販売用不動産の開発を進め、安定的な収益確保を目指してまいります。さらに本社管理コスト等の間接経費を抑え赤字圧縮を図ってまいります。

以上の施策により、各事業の収益力を上げ、売上高の増加と継続的な経常利益の黒字化を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5. 主要な事業内容（平成27年7月31日現在）

事業別	事業内容
衣料事業	衣料品販売店の運営
飲食事業	焼肉店、コンビニエンスストアの運営
不動産事業	賃貸事業、不動産の販売

6. 主要な営業所および工場（平成27年7月31日現在）

会社名	事業所名および所在地	
当 社	本社	高知県高知市
	衣料品販売店	高知県2店舗 愛媛県1店舗
	飲食店	高知県3店舗 埼玉県1店舗
	コンビニエンスストア	高知県1店舗

7. 使用人の状況（平成27年7月31日現在）

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
15名（71名）	5名減（8名増）	40歳	10年

（注）使用人数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。なお、その数は1人当たり1日8時間換算により算出しております。

8. 主要な借入先の状況（平成27年7月31日現在）

該当事項はありません。

9. その他会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

Ⅱ. 会社の状況

1. 株式の状況（平成27年7月31日現在）

- | | |
|----------------|--------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 300,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 158,470,071株 |
| (3) 株主数 | 24,477名 |
| (4) 大株主（上位10名） | |

株 主 名	持 株 数 （ 株 ）	持 株 比 率 （ % ）
山 本 真 嗣	66,826,026	42.17
株 式 会 社 サ ン ・ ク ロ レ ラ	3,283,000	2.07
山 本 悠 童	3,065,213	1.93
谷 川 雄 康	3,000,000	1.89
秋 元 利 規	2,330,000	1.47
宮 永 恵 子	1,375,380	0.87
山 本 誠 三	1,000,000	0.63
鶴 岡 尚 志	783,720	0.49
徳 田 隆 一	660,420	0.42
水 野 哲 郎	504,000	0.32

（注）持株比率は自己株式（2,218株）を控除して計算しております。

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

2. 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

3. 会社役員 の 状 況

(1) 取締役および監査役の状況（平成27年7月31日現在）

会社における地位	氏 名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役会長兼社長	山 本 真 嗣	
取締役名誉会長	山 本 誠 三	
常務取締役	竹 崎 隆 一	イチヤ事業部兼FF事業部担当
常務取締役	曾 我 部 達 雄	財務部担当
取 締 役	山 本 悠 童	イチヤ事業部長兼FF事業部長
取 締 役	橋 田 宗 人	管理部長
監 査 役	森 本 幸 伸	

(2) 事業年度中に退任した取締役および監査役

該当事項はありません。

(3) 取締役および監査役に支払った報酬等の総額

(単位：千円)

区 分	支 給 人 員	支 給 額
取 締 役	6 名	45,900
監 査 役	1 名	1,200
合 計	7 名	47,100

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬限度額は、平成15年10月29日開催の第53回定時株主総会において年額3億円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
3. 監査役の報酬限度額は、平成15年10月29日開催の第53回定時株主総会において年額5千万円以内と決議いただいております。

貸借対照表

(平成27年7月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	1,538,999	流動負債	73,333
現金及び預金	740,294	買掛金	23,595
売掛金	6,266	短期借入金	1,358
有価証券	341,822	未払金	10,158
商用品	53,049	未払法人税等	7,476
販売用不動産	62,033	未払費用	12,259
店舗食料品	7,409	預り金	5,241
貯蔵品	1,411	その他	13,244
前渡金	1,870	固定負債	21,320
短期貸付金	427,728	長期預り敷金	13,347
前払費用	3,242	繰延税金負債	709
預け金	10,235	資産除去債務	7,263
その他の他金	64,896	負債合計	94,653
貸倒引当金	△ 181,260	純資産の部	
固定資産	1,517,974	株主資本	2,965,170
有形固定資産	1,045,911	資本金	50,000
建物	180,759	資本剰余金	2,975,756
構築物	5,296	資本準備金	20,046
車両運搬具	3,509	その他資本剰余金	2,955,709
器具及び備品	4,971	利益剰余金	△ 60,018
土地	774,550	その他利益剰余金	△ 60,018
建設仮勘定	76,824	繰越利益剰余金	△ 60,018
無形固定資産	560	自己株式	△ 567
電話加入権	58	評価・換算差額等	△ 2,850
ソフトウェア	501	その他有価証券評価差額金	△ 2,850
投資その他の資産	471,502	純資産合計	2,962,320
投資有価証券	264,576	負債・純資産合計	3,056,974
関係会社株式	81,794		
その他の関係会社有価証券	490,380		
出資金	1,242		
長期貸付金	995,953		
関係会社貸付金	75,935		
敷金及び保証金	54,189		
その他の他金	29,990		
投資損失引当金	△ 490,380		
貸倒引当金	△ 1,032,180		
資産合計	3,056,974		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成26年8月1日から
平成27年7月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		899,730
売 上 原 価		492,336
売 上 総 利 益		407,394
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		497,486
営 業 損 失		90,092
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	12,199	
為 替 差 益	127,894	
そ の 他	6,295	146,388
営 業 外 費 用		
有 価 証 券 運 用 損	53,605	
そ の 他	3,787	57,393
経 常 損 失		1,096
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	500	500
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	4,700	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	26,000	
減 損 損 失	21,361	52,062
税 引 前 当 期 純 損 失		52,659
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		7,475
法 人 税 等 調 整 額		△ 116
当 期 純 損 失		60,018

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成26年8月1日から
平成27年7月31日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資 本 金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰越利益剰余金	利 益 剰 余 金 合 計
平成26年8月1日 期首残高	50,000	20,046	2,973,804	2,993,851	△ 18,094	△ 18,094
事業年度中の変動額						
その他資本剰余金から その他利益剰余金への振替			△ 18,094	△ 18,094	18,094	18,094
当期純損失					△ 60,018	△ 60,018
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計	-	-	△ 18,094	△ 18,094	△ 41,924	△ 41,924
平成27年7月31日 期末残高	50,000	20,046	2,955,709	2,975,756	△ 60,018	△ 60,018

	株 主 資 本		評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	自 己 株 式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成26年8月1日 期首残高	△ 567	3,025,189	11,310	11,310	3,036,499
事業年度中の変動額					
その他資本剰余金から その他利益剰余金への振替		-			-
当期純損失		△ 60,018			△ 60,018
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)			△ 14,160	△ 14,160	△ 14,160
事業年度中の変動額合計	-	△ 60,018	△ 14,160	△ 14,160	△ 74,179
平成27年7月31日 期末残高	△ 567	2,965,170	△ 2,850	△ 2,850	2,962,320

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

監査役の監査報告

監 査 報 告 書

監査役は、平成26年8月1日から平成27年7月31日までの第65期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成27年9月30日

株式会社一や

監 査 役 森 本 幸 伸 ㊞

以 上

株主総会参考書類

第1号議案 第65期（平成26年8月1日から平成27年7月31日まで）計算書類承認の件

会社法第438条第2項の規定に基づき、当社第65期の計算書類のご承認をお願いするものであります。議案の内容は提供書面9頁から11頁までに記載およびインターネット上の当社ウェブサイトに掲載のとおりであります。

なお、当社取締役会は、本議案の内容を適法かつ適正と判断しております。

第2号議案 剰余金の処分の件

会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の額を減少させて、繰越利益剰余金の額を増加させ、損失処理に充てたいと存じます。

減少する剰余金の項目およびその額、増加する剰余金の項目およびその額は次のとおりであります。

- (1) 減少する剰余金の項目およびその額
 その他資本剰余金 60,018,697円
- (2) 増加する剰余金の項目およびその額
 繰越利益剰余金 60,018,697円
- (3) 剰余金の処分の効力発生日 平成27年10月29日（木曜日）

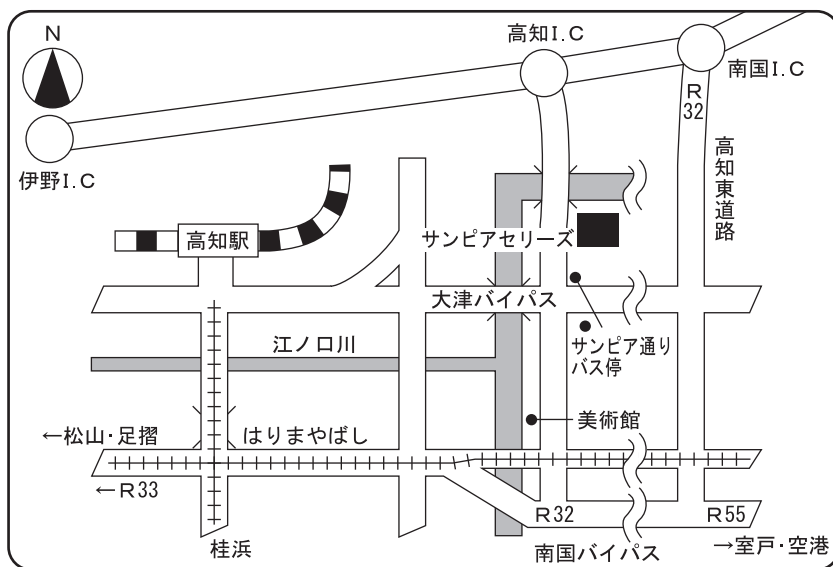
以 上

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 18 lines.

株主総会会場ご案内図

会 場 高知市高須砂地155番地
サンピアセリーズ
2階「コーラルホール」
電話 088(866)7000



< 車 >…高知自動車道高知I.Cより五台山・美術館方面へ約5分

< JR >…土讃線高知駅よりタクシーで約8分

< 空路 >…高知龍馬空港より車で約20分